

一般講演・ポスター発表 P-08

## 外来種ミシシippアカミミガメの消化管内容物湿重量の分析

平盛裕也・谷口真理・三根佳奈子・亀崎直樹 (神戸市立須磨海浜水族園)

The analysis of gut contents of red-eared sliders, *Trachemys scripta elegans*

Yuya HIRAMORI, Mari TANIGUCHI, Kanako MINE and Naoki KAMEZAKI (Kobe-Suma Aquarium)

兵庫県明石市を流れる谷八木川で防除されたミシシippアカミミガメ(以下, アカミミガメ)の消化管内容物湿重量を調べ, 満腹率を明らかにした。2013年5-11月に防除されたアカミミガメ250個体(雌171匹, 雄79匹)を分析に用いた。生殖腺により雌雄を判別し, 体重を測定した。消化管内容物湿重量(g)は, 解剖により胃から腸にかけて採取し, それと消化管重量との差で求めた。アカミミガメの消化管内容物湿重量(平均値±標準偏差, 個体数, 範囲)は $39.1 \pm 44.8$ g(N=250, 範囲:0.0-277.0)で, 雌は $46.4 \pm 50.3$ g(N=171, 範囲:0.0-277.0), 雄は $23.5 \pm 23.1$ g(N=79, 範囲:0.7-109.0)であった。体重と消化管内容物重量の関係を示す散布図をとると, 消化管内容物湿重量にはばらつきがみられた。個体の満腹状態の消化管内容物重量を推定するために, 体重の階級(250gごと)に消化管内容物湿重量の重い25個体を抽出した。それら変数から近似曲線 $y=0.0996x+25.71$ ( $R^2=0.7137$ )を求めた。この近似曲線より得られた満腹時の消化管内容物湿重量を実際の消化管内容物湿重量で除して満腹率(%)を求めたところ, 満腹率は $40.2 \pm 31.9$ %(N=250, 範囲:0.0-179.9)で, 雌は $42.3 \pm 32.4$ %(N=171, 範囲:0.0-179.9), 雄は,  $35.8 \pm 30.6$ %(N=79, 範囲:1.9-177.1)であった。谷八木川において多くの個体は空腹状態であり, 餌を欲している状態で, アカミミガメの餌となる植物が食べられやすい状況にあると考えられた。